

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	こども支援センターえがお
------	--------------

公表日 R8年 3月 19日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせて、活動内容を決めてできているところがいいと思う。 ・はい 	国の設置基準を満たしています。今後も育ちに合った活動内容が提供できるよう、活動スペースを工夫しながら支援に携わっていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日課で擦り合わせて、必要ところはわくわくと助け合いながら支援できている。 ・はい 	今後も職員配置や業務の工夫等を行い、お子さんの育ちに応じて適切な支援ができるよう努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お部屋でなんの活動をするか張り出している点がいいと思う。 ・はい 	今後もこども達に分かりやすい環境を整え、楽しみながら成長できるよう努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、きちんと掃除ができています。 ・はい 	今後も清潔な環境を整え、気持ちよく活動できるようにしていきます。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の部屋があり落ち着いた環境で取り組むことができている。 ・はい 	引き続き、こどもたちの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくとにここここで十分な情報共有ができていないことがある。 ・はい 	児童発達支援の職員との情報共有が十分でないと感じをいただきました。業務改善を進めるためには情報共有が欠かせないので、共有の場を設けます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会を行っていた。 ・はい 	保護者向け評価表は全職員に周知しています。職員一同、評価の内容を真摯に受け止め、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で話す十分な時間はない。意見交換ができる時間を設けられるといい。 ・はい ・振り返りの時間を設けられている。 	全体で話す時間は少ないですが、支援者間で話す時間は日課に落とし込み、話せる時間を設けています。また、各職員との面談の機会が年2回あり、業務改善に活かしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていない。 	現時点では、外部評価の実施予定はありませんが、引き続き内部での振り返りを重ねながら、支援の質の向上に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も研修に参加することができた。 ・行きたい研修を募り、参加することが出来ている。 	今年度、全員がオンライン研修も含め外部研修に参加しました。今後も多くの学びの機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・支援プログラムをホームページで公表している。 	令和7年4月より支援プログラムの公表をしています。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	0	・分からない。	初回アセスメントは児童発達支援管理責任者が保護者の方等から聞き取りをして行い、計画を立てています。その後は担当者も意見を述べ、お子さんの育ちに合った計画を作成しています。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	・職員にも意見を聞きながら、本人の希望することを意識できていると思う。	計画は児童発達支援管理責任者が保護者の方等から聞き取りをして作成し、その後、個別支援会議を通して職員間に周知し、支援させていただいています。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・支援に入る前には、情報の共有を行なっている。	「いいえ」のご意見があったため、再度、計画の共有を確認し、全職員が同じ方向性で支援できるようにしていきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	・できてないこともあった。	アセスメントは標準化されたもので作成し、その後、日々のかかわりの記録等から加筆し、支援に活かしています。その意味合いを十分に伝えきれていないことが分かったため、今後、アセスメントの意味等を再度伝える機会を設け、支援の質の向上に努めていきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・分からない。	計画は放課後等デイサービスガイドラインの内容を踏まえながら作成しています。「分からない」という意見があったため、再度職員に周知します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	・分からない。 ・今年から班会議が行われており、特性に合わせた活動を行っている。	集団活動はお子さんの発達年齢に応じた内容を提供できるよう、チームを中心に活動プログラムを作成しています。別の班活動になると、ねらい等が不明になる場合があるため、朝の連絡会等で全体に周知できるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・毎日活動内容を張り出し、職員も何をしているのか把握できるようにしている。	時期によってはチームで十分に話し、今後もいろんな活動を提供し、笑顔で楽しく活動できるようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	1	・分からない。	こどもの発達状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援しています。「分からない」ご意見があったため、周知していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	1	・朝の連絡会で必要なことは情報共有している。	朝の連絡会はもちろん、各活動に携わる職員間で支援前に役割等の確認を行っています。「分からない」ご意見があったため、再度確認していきます。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・長期休暇等ではできていない。 ・毎日ではないが、少しでも時間を設けて行っている。 ・お子さんが帰った後に全職員と話し合うのは難しい為、翌日の午前中に振り返りを行っている。 	職員の勤務時間の違いにより、全員がそろって振り返りをする事は難しいですが、引き続き、連絡ノートや記録等を活用し、情報の共有に努めていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1		日々の記録は支援をする上で欠かせない為、引き続き記録の大切さを伝えていきます。また、出た課題について全て検証できていないため、検証する時間を設け、改善していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13	1		支援についてはガイドラインに提示されている内容を複数組み合わせさせて実施しています。その旨を知らない職員がいるため、事業所内研修等で知れるようにしていきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0		今後も、こどもが自分で決める機会を増やせるよう、日常の場面でも選択の機会を意識的に設けていきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		

関係 機 関 や	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	2		利用開始前に保護者の方の了承を得て、児童発達支援管理責任者が就学前に利用していた保育所等に出向き、支援者の方々から話を伺い、支援に活かしています。担当者も一緒に行ける時は行っているのですが、なかなか行けないため、今後はできるだけ行けるように調整していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	1		障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、子育てファイルふくいっ子を作成し、次の支援機関に支援内容等を提供しています。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	4	・分からない。	他の児童発達支援センターと協議し、地域への取り組みを今後検討しています。今後も、関係機関との連携を深め、地域全体で支援の質を高めていけるよう協議を進めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	12	・こども達同士の交流の前に、職員が地域に出向き交流の下地を作っていく必要があると思う。	現在、放課後児童クラブや児童館との交流はないため、今後携わっている方々と話し合い等を重ね、交流の機会を検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	5	・分からない。 ・児発管が参加している。 ・児発管が参加。 ・自立支援協議会主催の研修会等にも参加し、顔なじみの関係性を作っている。また、他の事業所等との意見交換を通し、事業所に求められていることを知り、できることから取り組んでいる。	児童発達支援管理責任者が参加し、意見交換等を行い地域課題の抽出等に取り組んでいます。ただ、その内容を伝えきれていないため、今後伝えるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	2	・家族等が参加できる研修会開催はまだ定期的に行われていないが、研修会等の情報は都度提供している。	現在、家族向けの研修は開催できていませんが、今後、課題としてどのような形で実施できるか検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	1		日頃の活動等の中でも選択する場面を設定し、自分で選ぶことの経験を重ねられるようにしています。モニタリングでは、できるだけお子さんも参加できるように調整し、意向確認ができるようにすると共に、保護者の方がお子さんの意向確認を知れるように調整していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	・12月に見学とおしゃべり会を実施している。 ・親子交流会を年1回開催している。テーマは毎年変え、たくさんの保護者が参加できるように工夫していきたい。	毎年、保護者交流会は実施しているのですが、きょうだい同士の交流会は実施していません。今後、ニーズ調査等を行い、どのような形で開催した方が良いか等を検討していきます。

41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・にここNEWSを発信しており、一人ひとり掲載出来るように心がけている。	こども達の様子が知れるように「にここNEWS」を発信しています。発信頻度について、今後検討していきたいと考えています。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	6	・法人での行事に招待する等している。	今後の課題として、地域との関わりを深める方法を検討し、可能な範囲で地域に開かれた事業運営を考えていきます。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		業務継続計画（BCP）は策定していますが、定期の訓練が毎月は出来ていません。長期休暇等利用し訓練を重ねていきます。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		安全計画は作成されていますが、事故や災害はいつ起こるか分からないため、繰り返し研修や訓練を重ねて行きます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		ヒヤリハットで出た内容は事故予防委員会にて分析し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		今後も虐待防止研修を定期的に行い、虐待が起こらないようにしていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0		身体的拘束等適正化委員会で拘束を行うかの検証を組織として検証し、了解を得たうえで計画書に記載しています。今後も身体的拘束等適正化の研修を定期で行い組織として取り組んでいきます。